

350名を越える参加者が、早春の奥武蔵を駆ける！

TEAM 阿闍梨 村越 真

シリーズ戦への経緯

厳しいイメージで敷居の高かったロゲイニングを、「レク」という新しいコンセプトをひっさげ、ファミリーでも楽しめるスポーツに変えた奥武蔵ロゲイニング。2008年シリーズ最終戦として、350名を越える愛好者を集め、3月29日に開催された。

レク色満載、奥武蔵ロゲイン

奥武蔵ロゲイニングの売りは、レクリエーション色である。チェックポイントの多くは奥武蔵の名所である。その場所で指定されたポーズの写真を撮ることがチェックポイントの通過証明となる。主催者には設置の省力化となるこのアイデアは、参加者にとっても名所めぐりの楽しみを与えてくれた。また、タクシー以外の公共交通手段も使い放題。それによって、体力的に不安のある家族や高齢者などでも、安心して参加できる。オフィシャルサイトには、初心者の参考になる情報も満載。こうした特色に惹かれてリピーターとなる参加者も多い。

高麗から伊豆が岳まで

今回の大会では、渡来人の里として有名な高麗から、奥武蔵と秩父の分水嶺である伊豆が岳まで、15km四方という広大なエリアに51個ものチェックポイントが設置された。スタート周辺にはオリエンテーリングマップを使ってフラッグが設置されたナビゲーションエリアもある。

好天に恵まれた当日9時、予定通りスタートが行なわれた。一刻を争って走り出すトップグループもあれば、スタート時刻を過ぎても地図をみながら作戦を立てているチームもある。

筆者はパトロールと称して、北のエリアを中心に走った。随所でチームに出会う。制限時間が6時間のロゲイニングでは、トップスピードで走ることは少ない。すれ違ったり追い抜く時には、一言二言声を交わしていく。また写真を撮ろうとするとわざわざポーズをとってくれるチームもある。参加者同士の和気藹々とした雰囲気はロゲイニングの魅力でもある。

14:30を過ぎるとグループが戻り始める。ロストや鉄道の時間の関係で大

幅に遅刻したチームもいたが、事故もなく競技は終了した。

本大会で最高点をたたき出したワイルドライフは、バスと電車をうまく使い、奥武蔵の外周の高得点ポイントを総なめして、コースディレクターの柳下をもびっくりさせ900点台で、圧勝した。

シリーズ戦の行方

今回コースディレクターだった柳下は、すでに有度山でシリーズ戦優勝を決めていたが、2位には緒戦霧ヶ峰で柳下を倒した渡辺達也、3位には篠原岳夫が入った。一方、女子では、田島が貯金を守り優勝。2位には参加大会でコンスタントに上位得点を出した鈴木真樹子、3位には篠原夏子が入った。

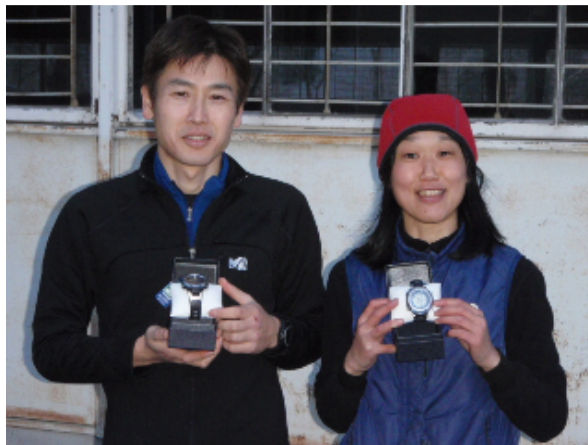
多様な年齢層が参加したことから、急遽設けられた50歳以上の特別表彰は、静岡の堀本夫妻が該当し、全体チャンピオンの柳下・田島とともに、協賛のカシオ計算機より提供のアウトドア腕時計の定番、カシオプロトレックを手にした。

オリエンテーリングのDNA

参加人数を見る限り、シリーズ戦は成功であった。大会の評判が口コミ、ブログ等で伝わり、それが次の大会の参加者を増やしていった。

参加者が増えた要因の一つは、参加料の手軽さである。最近のトレイルランニング大会の参加費を高いと感じる参加者は少なくない。ロゲイニングの「良心的な値段」には、「6時間遊んで、これでは安すぎる」「運営が成り立つか心配」といった感想すら聞かれた。

参加料を抑えられる背後には、オリエンテーリング界が30年間に蓄積した競技会開催のノウハウやエミットなどの用具、写真撮影方式など省力化の工夫がある。それに加えて、主催者の日常的活動エリアが開催地である点も見逃せない。たとえば筆者が主催する有度山は、勤務地と自宅の間に位置し、通勤ラン等で縦横無尽に走り回っている。大会準備もトレーニングの一環で



▲田島利佳、柳下大が初代チャンピオンに

行なうので、時間・金銭的成本が発生しない。さらに、エリアに対する愛着が大会の質を高める。こうした努力や地域との関わりが低参加料の背後にある点は、もっとアピールしたい。

参加者が増えるのは喜ばしい反面、潜在的な課題も生む。オリエンテーリングがその興隆期にマナーに関する多くの問題を生み出した。ロゲイニングでも、参加者が増えれば、住民との関係、安全管理など、様々な問題が発生する可能性がある。運営者と参加者が一体となってロゲイニングが地域に受け入れられるような啓発が必要だろう。

2009年のシリーズは、全10レース。その中には、自分で参加したロゲイニングが面白くて、是非自分の社会教育施設でもやりたいと職員が奮戦した結果、開催にこぎつけたものもある。参加者と運営者の連続性。私たちが30年間培ったオリエンテーリングのDNAは、ロゲイニングにも生きている。

(村越 真)



▲ランナーの母娘で構成されたピース(女の子の一人がももちゃんという名前)、楽しそうにゴール。